



令和6年7月26日14時00分
近畿地方整備局大和川河川事務所

**土工における BIM/CIM 設計データの ICT 施工データへの簡易加工に
関する現場説明会を開催します**
～保田遊水池整備における BIM/CIM 設計データと ICT 施工データ連携を実施～

大和川河川事務所で遊水池整備を進めている箇所の一つである、奈良県川西町の保田地区において、現在遊水地の完成に向けて、越流堤の工事を進めています。

本工事の土工部は、ICT 施工を活用しておりますが、この度工事箇所のフィールドを活用し、BIM/CIM 設計と ICT 施工のデータ連携に関する現場説明会を開催することになりましたのでお知らせします。

1. 日 時：令和6年8月1日（木）10時30分～11時30分

2. 場 所：奈良県磯城郡川西町保田地先

3. 実施内容：

保田遊水地事業の説明、土工における BIM/CIM 設計データから ICT 施工データへの簡易加工（デモ）、簡易加工したデータを用いた現場施工（実演）

4. 当日の取材について：

取材をご希望される方は7月31日12:00までに別紙-2に基づき電子メールにてご連絡いただきますようお願いいたします。

※雨天の場合は8月下旬に順延します（小雨の場合は実施）。

（順延の場合は大和川河川事務所にて実演以外の説明会を実施。日程は取材を希望された方に別途ご連絡します。）

<取扱い> _____

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、奈良県政・経済記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所

副所長 山口 裕一（やまぐち ひろかず）

工務課長 古澤 克朗（ふるさわ かつあき）

電話 072-971-1381（代表）（内線：205、311）

令和6年7月26日

土工におけるBIM/CIM設計データとICT施工データへの 簡易加工に関する現場説明会を開催します

ICT建機を用いた土工工事では、設計で作成したBIM/CIMを建機用データとして十分に活用できておらず、施工段階で建設会社が3次元モデルを新規に作成し、建機用データに用いており、設計と施工間のBIM/CIMデータ連携が課題となっています。

そこで、その解決策として当事務所の遊水地事業の中で、民間企業からBIM/CIM設計データをICT施工データに容易に加工できるシステムの使用の提案があったことから、現地フィールドを使い、試行的に施工した結果、スムーズなデータ受け渡しが確認できたため、本取り組みを当事務所の工事受注者等へ紹介する現場説明会を開催します。

1 日時：令和6年8月1日（木）10時30分～11時30分

2 場所：奈良県磯城郡川西町保田地先（案内図参照）

3 内容：

保田遊水地事業の説明、土工におけるBIM/CIM設計データからICT施工データへの簡易加工（デモ）、簡易加工したデータを用いた現場施工（実演）

保田遊水地事業について
土工部ICT施工データ変換システムについて
・ICT土工における現状の問題点の説明
・ICT土工の問題点に対する解決策の提案
システムを用いた現場施工（実演）

4 当日の取材について

取材を希望される報道機関の方は、別紙－2に基づき、電子メールにて申込みください。

5 問い合わせ先

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所
副所長 山口 裕一（やまぐち ひろかず）
工務課 古澤 克朗（ふるさわ かつあき）
連絡先：072-971-1381（代表）（内線：205、311）

報道機関の皆様へ

◆取材等の申し込みについて

【期 日】 令和6年7月31日（水）12：00 まで

【申込み】 メールには、以下の内容をご記載ください

件名：【取材希望】ICT 土工現場実証について

本文：①氏名（ふりがな）、②社名、③連絡先（電話・Mail）、④取材人数、
⑤テレビカメラの有無（有りの場合は台数記載）

【送付先】 下記メールアドレス宛にお送りください。

furusawa-k86mc@mlit.go.jp

◆その他

ご来場の際には以下についてご注意ください。

- ・写真撮影等は実証実験の妨げにならないようお願いいたします。
- ・腕章を持参のうえ、各社最少人数でお願いします。
- ・駐車スペースに限りがありますので、乗り合わせの上、各社1台でお越しくください。

設計・施工BIM/CIMデータ連携に関する取り組み

BIM/CIM設計データとICT施工データ連携に関する現場説明会を開催します。

- ◇ 日時: 令和6年8月1日(木)10時30分～11時30分
- ◇ 内容: 保田遊水地事業の説明、土工におけるBIM/CIM設計データをICT施工データへ簡易加工できるシステムの説明、簡易加工したデータを用いた現場施工(実演)
- ◇ 主催者: 近畿地方整備局 大和川河川事務所

ICT土工における問題と要因

【問題】: 設計で作成したBIM/CIMがICT施工で十分に活用されていない

【主な要因】: 設計段階で施工条件を考慮したBIM/CIMを作ることが難しい

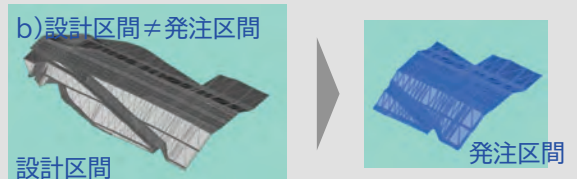
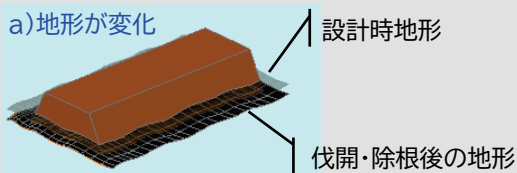


問題: BIM/CIMが施工段階で未活用

要因①: 施工条件を考慮したBIM/CIMが作れない

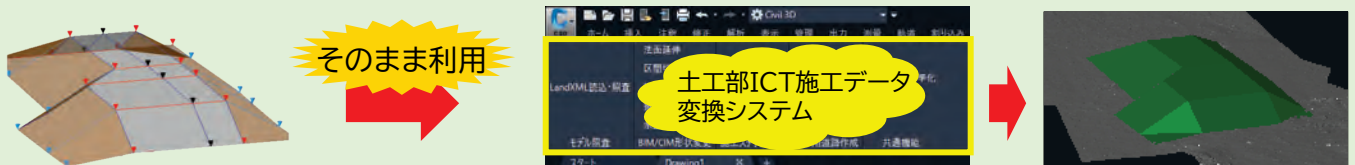


【設計段階のBIM/CIMが施工条件を考慮出来ない理由】



本試行での取り組み: BIM/CIMをICT土工で活用するために開発したシステムについて

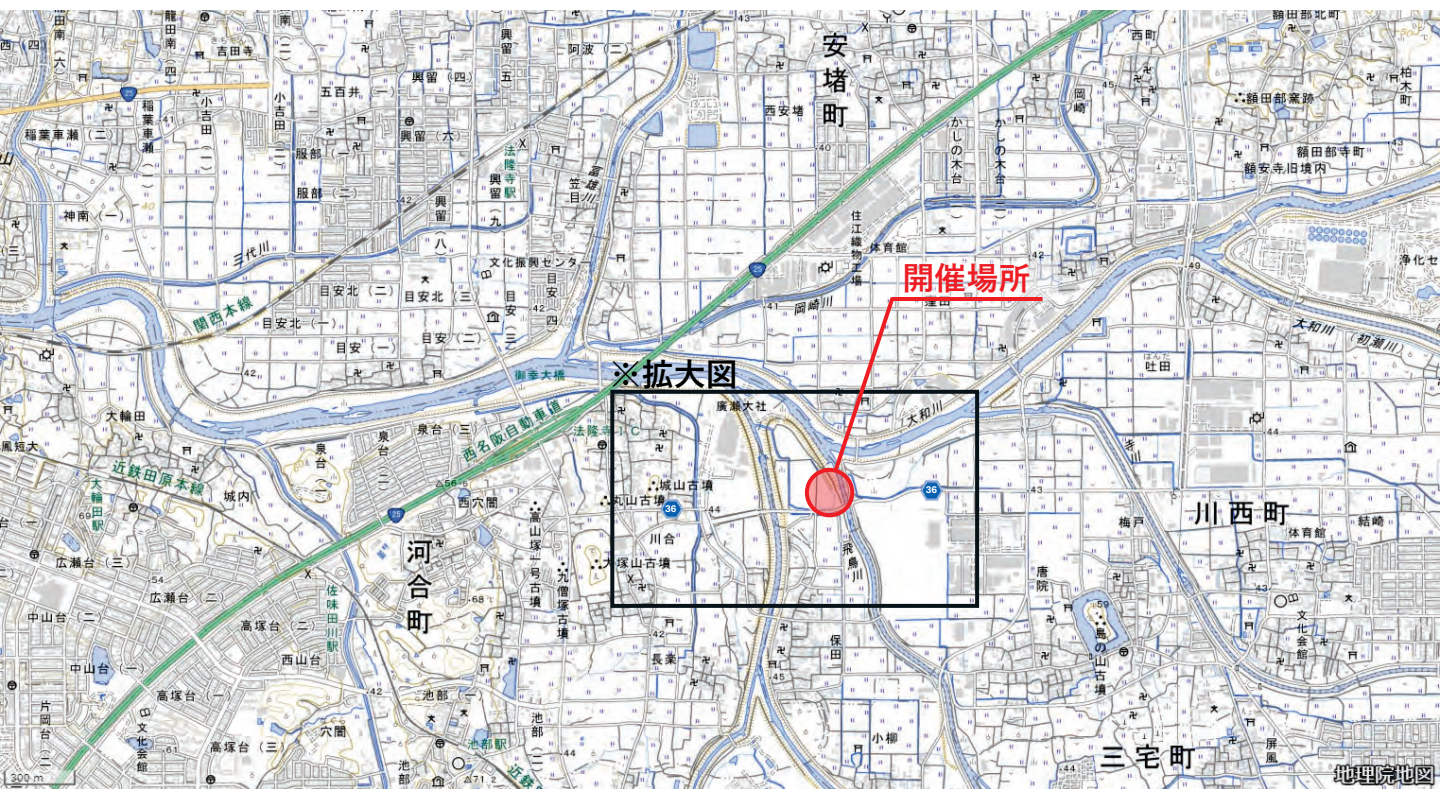
ICT土工の問題点を解決するために開発した「土工部ICT施工データ変換システム」について、システムの実演、当システムで作成した3次元モデルを使った施工をご覧ください。



※BIM/CIMは、計画、調査、設計段階から3次元モデルを導入し、建設生産・管理システムの効率化・高度化を図るものです。
※土工部ICT施工データ変換システムは、BIM/CIMを簡易に加工してICT土工用の3次元モデルを作成するソフトです。

案内図

◆ 場所：奈良県磯城郡川西町保田地先



※拡大図



※車でお越しになる場合、県道36号の曾我川右岸出入口から出入りしてください。